

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	江東区白河3-10-8 福進ビル1～3階
施設名	小鳩保育園 清澄白河

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

組み合わせ遊び

〈テーマの設定理由〉

子ども達が夢中になって遊ぶ時には異なる玩具、用具などを組み合わせて遊びを広げる姿が多く見られる。組み合わせで遊ぶ過程のなかで、試行錯誤を重ね、新しいものを生み出す体験や柔軟な思考、発想力を培ってほしいと考えテーマに設定した。

2 活動スケジュール

8月 これまでの活動の振り返りと子どもの姿をもとに、必要な物品や援助、環境構成について話し合う。
9月 話し合いをもとに環境を設定し、運動あそびの活動を行う。
午睡時間に参加職員で振り返りを行う。
10月 クラスごとに9月の振り返りをもとに、参加していない保育者へ共有する。

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

子どもが体を動かしながら遊びを広げていけるよう、平均台や組み合わせ平均台、ドレミマットなどの遊具を用意した。また、ブルーシートや木切れセット、カプセルなどの素材も取り入れ、遊具と組み合わせで使えるようにした。さらに、用具や素材を手に取りやすい位置に配置し、自分で選びながら遊びを展開できる環境とした。

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

平均台やマットなどの遊具に素材を加え、それらを組み合わせながら体を動かして遊びを広げる活動を行った。

〈活動中のこどもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり〉

- ・平均台を組み立てながら「工事中です」と言い、作業員になりきって向きや長さを相談し、工事現場に見立てて遊ぶ姿が見られた。平均台の上を一方向に歩いて進んでいた子が、向かいから進んできた他児と鉢合わせしたことをきっかけに、数人ずつのチームに分かれ、出会ったタイミングでじゃんけんをする遊びへと展開していった。
- ・ドレミマットでは、はじめは音を出すことを楽しんでいたが、平均台やマット、すずらんテープでカーテンをつけるなど、障害物を組み合わせた遊びへと展開していった。
- ・3段の跳び箱からジャンプを繰り返す中で、保育者と目を合わせることで安心し、何度も挑戦する姿が見られた。



2枚以上
ますの



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

子どもたちは、遊具や素材を組み合わせる中で、遊び方を自分たちで変化させながら楽しむ姿が見られた。平均台にルールを加えたり、複数の遊具をつなげたりすることで、遊びが広がっていく様子があった。また、遊びの中で他児と関わることで、新たな遊び方が生まれたり、安心して繰り返し挑戦したりする姿も見られた。こうした姿から、子どもは組み合わせることで遊びに変化をつけながら、自分なりに楽しみ方を見出していくことが分かった。保育者は、その過程を見守りながら、遊びが広がるような環境や関わりを大切にしていきたい。